

都市再生整備計画 事後評価シート(案)
草薙駅周辺地区

令和7年3月

静岡県静岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	草薙駅周辺地区			面積	183.2ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	354	国費率	0.5				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路事業(中之郷9号線歩道整備事業)、道路事業(南口メインストリート整備事業)、地域生活基盤施設(JR草薙駅北口駐輪場等整備事業)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業)、事業活用調査事業(事業効果分析)									
			新たに追加した事業		基幹事業	なし		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
	交付期間の変更		当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
			変更	—									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅北口周辺が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行えると感じる割合	%	35.8	R1	41.2	R6	38.8	40.6	△	あり なし	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場」と「芝生広場」が整備され、駅北口にゆとりのある空間が創出されたことから、指標の向上に貢献できた。その一方で、北口駐輪場の整備は行われたが、中之郷9号線の整備が遅れていることにより、目標達成には至らなかった。	
	指標2	駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ、居心地が良いと感じる割合	%	31.9	R1	37.3	R6	35.8	42.3	○	あり なし	南口メインストリートの歩道空間や南口駅前広場等において、(一社)草薙カルテッドが主体となり、公共空間活用を活用したイベントが実施されていることにより、居心地の良い空間づくりが行われたことから目標の達成に大きく貢献できた。	
	指標3	駅北口周辺が自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合	%	31.2	R1	42.9	R6	42.9	46.0	○	あり なし	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場(260台)」と「芝生広場」が整備され、駅への自転車利用者の利用環境が改善されたことから、目標達成に大きく貢献できた。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	令和4年4月にJR草薙駅北口駐輪場等整備事業に伴う芝生広場の利用が開始され、キッチンカーや飲食販売などの地域イベントの会場として賑わいが生まれている。(一社)草薙カルテッドを中心に、駅前や道路空間を活用したイベントの実施など効果的な維持管理及び利活用がされ、地元のまちづくり気運が高まり続けている。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	アンケート調査等によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	事後評価時にアンケート調査を実施するとともに、(一社)草薙カルテッドへのヒアリングを実施しながら、次期計画における方向性を検討する。		
	官民連携による取組	草薙駅周辺まちづくり検討会議、草薙まちづくりインターンシップ			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	草薙地区の産官学民のさらなる連携強化を図り、草薙駅周辺地区のまちづくりのアクションプランの実施に取り組む 地域住民や学生等のまちづくりへの参画機会の創出を図り、草薙のまちづくりを担う人材育成に取り組む。		
	持続的なまちづくり体制の構築	(一社)草薙カルテッド			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	地元のまちづくり組織として、地域主体にまちづくりの実践に取り組む。		

様式2-2 地区の概要

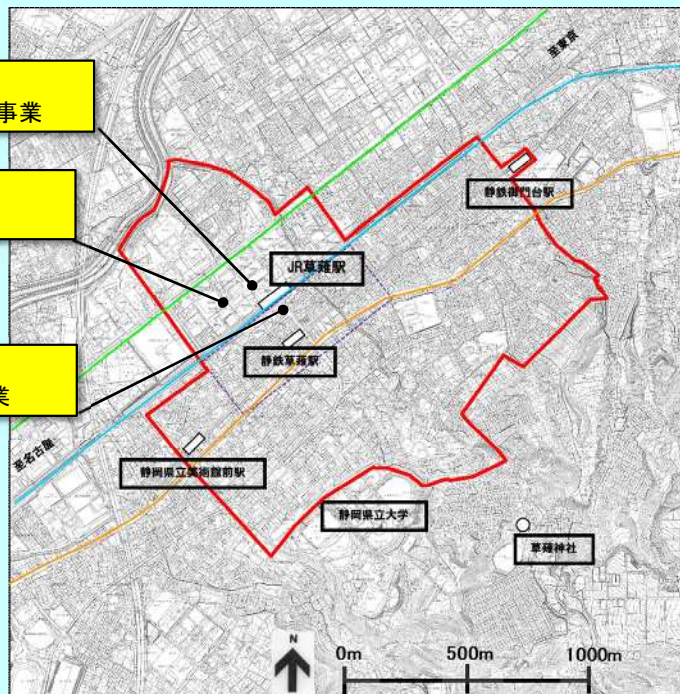
草薙駅周辺地区（静岡県静岡市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：草薙駅北口周辺の利用環境の改善と草薙駅南口周辺の公共空間を活用した賑わいづくりによるまちの魅力の向上 目標1：駅北口周辺が安全・快適に利用できる環境づくり 目標2：駅南口周辺の地域住民や来街者で賑わう居心地の良い環境づくり	駅北口が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行えると感じる割合 単位：％	35.8 R1	41.2 R6	40.6 R6
	駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ、居心地が良いと感じる割合 単位：％	31.9 R1	37.3 R6	42.3 R6
	駅北口周辺が自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合 単位：％	31.2 R1	42.9 R6	46.0 R6

■地域生活基盤施設
JR草薙駅北口駐輪場等整備事業

■道路事業
中之郷9号線歩道整備事業

■道路事業
南口メインストリート整備事業



□まちづくり活動推進事業
まちづくり活動支援事業
・まちを形成するエリアマネジメント組織の検討
・(仮)まちづくり活動支援事業の検討・参画 等

□事業活用調査事業
事業効果分析
草薙駅周辺道路空間魅力向上事業



まちの課題の変化

- ・「中之郷9号線歩道整備事業」は合意形成に時間がかかり、事業期間が延長されたことから、整備完了に向けて引き続き取り組む必要がある。
- ・「南口メインストリート整備事業」は事業費高騰による予算平準化により事業期間が延長されたことから、整備完了に向けて引き続き取り組む必要がある。
- ・北口駅前広場の利用はされている一方で北口には地域の活動拠点となる場所が整備されていない。特に、新幹線高架下は有効な土地活用がされていないことから、地域のニーズに応じた利活用方を検討しながら賑わいのある空間を形成する必要がある。
- ・南口メインストリートが事業中（工事中）であることに加え、南幹線との交差点はコの字型の横断歩道や地下道を使って横断する必要があることから、車いすやベビーカーにとって使いづらい環境であるほか、地下道は暗く危険であるため、誰もが安全・快適に移動できる環境の形成が必要である。
- ・JR草薙駅南口から南幹線までの区間において、社会実験等により賑わいの創出が図られたものの、静岡県立大学方面への回遊性向上には貢献できていないことから、南幹線以南も含めたエリアにおいて地域住民や学生が居心地が良く歩きたくなる環境づくりが必要である。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

【草薙駅周辺の”安全な環境”づくり】

- ・地域住民や学生等の利用者が安全に移動でき、誰もが安心して歩ける環境の整備に取り組む。

【草薙駅周辺の”居心地が良く、歩きたくなる環境”づくり】

- ・新幹線高架下を有効活用し、まちの魅力やにぎわいの拠点となる駅前環境の整備に取り組む。
- ・草薙駅南口周辺から南幹線までにとどまっている、まちのにぎわいを静岡県立大学方面へ拡大させ、地域住民や学生等が居心地が良く回遊したくなる環境の整備に取り組む。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		<p>【指標1】駅北口が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行くと感じる割合</p> <p>【指標2】駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ、居心地が良いと感じる割合</p>	<p>【指標1】駅北口が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行くと感じる割合</p> <p>【指標2】駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ、居心地が良いと感じる割合</p> <p>【指標3】駅北口周辺が自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合</p>	<p>令和6年3月の計画変更(第3回変更)にて、中之郷9号線の整備にあたっての合意形成に時間がかかり、本計画期間内に事業が完了できなくなったことを踏まえ、指標1を補完する指標として指標3を追加設定した。</p>
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	中之郷9号線歩道整備事業	370	L=225m、W=9m (R2~R6)	39	L=225m、W=9m (R2~R9)	令和5年10月の計画変更(第3回変更)にて、合意形成に時間がかかり、事業期間が延長されたため、事業費を減額。	【指標1】駅北口周辺が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行えると感じる割合」において、目標達成に直接的な影響を与える事業である一方、事業が完了しなかったため、目標の達成には至らなかった。		
道路	南口メインストリート整備事業	390	L=170m、W=20m (R2~R3)	142	L=170m、W=20m (R2~R3)	令和5年10月の計画変更(第3回変更)にて、事業費高騰による予算の平準化により、事業期間が延長されたため、事業費を減額。	【指標2】駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ居心地が良いと感じる割合」において、目標達成に直接的な影響を与える事業ではあるものの、(一社)草薙カルテッドが主体となり、公共空間を活用したイベントが実施されていることにより、居心地の良い空間づくりが行われたことから目標の達成に至った。		
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	147	A=600㎡ (R3~R6)	127	A=600㎡ (R3~R10)	令和5年10月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を減額。	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	R4		モニタリング	△	あり	なし
指標1	%	令和6年8月に、草薙駅周辺地区を対象とした住民アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「草薙駅北口が通勤通学時間帯に快適に利用できる環境となっている」の設問に対し、「とても思う、やや思う」と回答した割合を計測する。			35.8	R1	41.2	R6	モニタリング	R4	38.8	モニタリング	△		●
									事後評価	確定 見込み	●	40.6	事後評価		
指標2	%	令和6年8月に、草薙駅周辺地区を対象とした住民アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「駅前広場や商店街通りが歩きやすく、居心地が良いと感じる」の設問に対し、「とても思う、やや思う」と回答した割合を計測する。			31.9	R1	37.3	R6	モニタリング	R4	35.8	モニタリング	△		
									事後評価	確定 見込み	●	42.3	事後評価		
指標3	%	令和6年8月に、草薙駅周辺地区を対象とした住民アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合」の設問に対し、「とても思う、やや思う」と回答した割合を計測する。			31.2	R1	42.9	R6	モニタリング		-	モニタリング	—		
									事後評価	確定 見込み	●	46.0	事後評価		
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定 見込み			事後評価		
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定 見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場」と「芝生広場」が整備され、駅北口にゆとりのある空間が創出されたことから、指標の向上に貢献できた。 その一方で、北口駐輪場の整備は行われたが、中之郷9号線の整備が遅れていることにより、目標達成には至らなかった。	-
指標2	南口メインストリートの歩道空間や南口駅前広場等において、(一社)草薙カルテッドが主体となり、公共空間活用を活用したイベントが実施されていることにより、居心地の良い空間づくりが行われたことから目標の達成に大きく貢献できた。	-
指標3	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場(260台)」と「芝生広場」が整備され、駅への自転車利用者の利用環境が改善されたことから、目標達成に大きく貢献できた。	-
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

令和4年4月にJR草薙駅北口駐輪場等整備事業に伴う芝生広場の利用が開始され、キッチンカーや飲食販売などの地域イベントの会場として賑わいが生まれている。
 (一社)草薙カルテッドを中心に、駅前広場や南口メインストリートの道路空間を活用したイベントの実施など効果的な維持管理及び利活用がされ、地元のまちづくり気運が高まり続けている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
アンケート調査等によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施時期】令和4年7月	地区の計画や今後策定される計画においても、適宜中間評価を実施していく。
	予定はなかったが実施した	● 【実施結果】回収率34.3%(240/700)	
	予定したが実施できなかった (理由)	● 都市再生整備計画及び個別の各事業の進捗状況の把握、市民アンケート調査を実施し、目標値の達成見込みの検証を行った。	

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
草薙駅周辺まちづくり検討会議	予定どおり実施した	● 平成26年1月に草薙駅周辺の産学官民が一体となり、草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を進めることを目的に発足。(令和6年7月時点、計21回開催)	「草薙駅周辺まちづくりビジョン」及び「草薙景観デザインブック」を活用した草薙駅周辺地区のまちづくりの啓発活動・具体的な取組みの推進を図る。
	予定はなかったが実施した	● 【主な活動内容】 ・「草薙駅周辺まちづくりビジョン」の策定	
	予定したが実施できなかった (理由)	● 「くさなぎ景観デザインブック」の策定 ・「Helloくさなぎ」や「草薙まちづくりニュース」等の発行	
草薙まちづくりインターンシップ	予定どおり実施した	● 草薙地区に立地する静岡県立大学と常葉大学の交流を深め、草薙のまちづくりの周知を図るとともに、地域のまちづくりの担い手を育成することを目的に、「草薙まちづくりインターンシップ」を開催。(平成30年度～令和3年度まで実施)	継続的なインターンシップは実施しないが、コラボレーションスペースTaktを学生の活動・交流拠点として活用する。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった (理由)	●	
JR草薙駅南口メインストリート研究会	予定どおり実施した	● 「JR草薙駅南口グランドデザイン」の策定を受け、南口メインストリートの賑わいづくりに向けた取り組みを検討する場として発足。(令和元年度)	将来的な道路空間の再編や電線地中化等も見据え、公共空間を活用した滞留・交流空間の創出に向けた検討を進める。
	予定はなかったが実施した	● 【主な活動内容】 ・公共空間を活用した“おもてなし空間”の創出検討	
	予定したが実施できなかった (理由)	● “賑わいミニ社会実験”の実施	

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
一般社団法人草薙カルテッド	予定どおり実施した	● 【主な活動内容】 ・イベントの開催・開催支援 ・JR草薙駅南口イベント広場・北口芝生広場の管理	● 【組織名】一般社団法人 草薙カルテッド	地元のまちづくり組織として、地域主体にまちづくりの実践に取り組む。(①駅周辺賑わい事業、②安心安全・住み良さ事業、③文化教育事業) ほこみち制度の活用や介護予防事業と連携したイベント実施などにより、まちの賑わいづくりに取組む。
	予定はなかったが実施した	● ・草薙商店街通りの活用 ・JR草薙駅南北自由通路の広告掲示板の管理・運用等	● 【組織概要】 草薙のまちづくりを持続的・一体的・効果的にマネジメントし、住民・事業者・来街者等に価値のある都市サービスを提供することを目的に活動を実施。	
	予定したが実施できなかった (理由)	● ・『有度/草薙みらいビジョン-2034-』の策定(2024/03)	●	

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長:都市局都市計画部長 本部長:危機管理局次長、総合政策局次長、財政局財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、保健福祉長寿局健康福祉部長、子ども未来局次長、経済局商工部長、都市局建築部長、建設局土木部長、建設局道路部長、消防局消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	第1回:令和6年11月6日	都市局 都市計画部 都市計画課
草薙駅周辺地区 地区部会 (上位推進本部の下部組織)	部長:清水まちづくり推進課 課長 部員:都市局都市計画課 課長、都市局交通政策課 参与兼課長、都市局緑地政策課 課長、都市局都市計画事務所 所長、建設局道路計画課 課長、建設局道路保全課 参与兼課長	第1回:令和6年10月8日	都市局 都市計画部 清水まちづくり推進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		指標3					
指標名		駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ居心地が良いと感じる割合(%)		駅北口周辺が自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合(%)					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路:中之郷9号線歩道整備事業	—	南口メインストリートの歩道空間や南口駅前広場等において、(一社)草薙カルテッドが主体となり、公共空間活用を活用したイベントが実施されていることにより、居心地の良い空間づくりが行われたことから目標の達成に大きく貢献できた。	—	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場(260台)」と「芝生広場」が整備され、駅への自転車利用者の利用環境が改善されたことから、目標達成に大きく貢献できた。				
	道路:南口メインストリート整備事業	-(事業中)		◎					
	地域生活基盤施設:JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	—		—					
提案事業	事業活用調査:事業効果分析	—		—					
	事業活用調査:草薙駅周辺道路空間魅力向上事業	○		—					
	まちづくり活動推進事業:まちづくり活動支援事業	○		—					
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	草薙駅南口周辺から南幹線までにとどまっている、まちのにぎわいを静岡県立大学まで拡大させ、地域住民や学生等が歩きやすく回遊したくなる環境の整備に取り組む。	新幹線高架下を有効活用し、まちの魅力やにぎわいの拠点となる駅前環境の整備に取り組む。		
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1													
指標名		駅北口周辺が歩きやすく乗り継ぎもスムーズに行えると感じる割合(%)													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	道路: 中之郷9号線歩道整備事業	××	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により「駐輪場」と「芝生広場」が整備され、駅北口にゆとりのある空間が創出されたことから、指標の向上に貢献できた。その一方で、北口駐輪場の整備は行われたが、中之郷9号線の整備が遅れていることにより、目標達成には至らなかった。	I											
	道路: 南口メインストリート整備事業	—													
	地域生活基盤施設: JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	◎													
提案事業	事業活用調査: 事業効果分析	—													
	事業活用調査: 草薙駅周辺道路空間魅力向上事業	—													
	まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業	—													
関連事業															

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	事業中の中の郷9号線整備事業を完了させ、地域住民や学生等の利用者が安全に移動でき、誰もが安心して歩ける環境の整備に取り組む。				
------------------	--	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長：都市局都市計画部長 本部長：危機管理局次長、総合政策局次長、財政局財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、保健福祉長寿局健康福祉部長、子ども未来局次長、経済局商工部長、都市局建築部長、建設局土木部長、建設局道路部長、消防局消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	第1回：令和6年11月6日	都市局 都市計画部 都市計画課
草薙駅周辺地区 地区部会 (上位推進本部の下部組織)	部会長：清水まちづくり推進課 課長 部会員：都市局都市計画課 課長、都市局交通政策課 参与兼課長、都市局緑地政策課 課長、都市局都市計画事務所 所長、建設局道路計画課 課長、建設局道路保全課 参与兼課長	第1回：令和6年10月8日	都市局 都市計画部 清水まちづくり推進課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
【草薙駅北口の“安全・快適”なまちづくり】 ・常葉大学草薙キャンパスの開校などで、朝夕の通勤通学時間帯等において、駅北口の利用者の集中・混雑化が発生。 ・駅北口において利用者が安全・快適に利用できる環境づくりが課題	「JR草薙駅北口駐輪場等整備事業」により、駐輪場(260台)と芝生広場が整備されたことにより、駅北口にゆとりのある空間が創出された。	「中之郷9号線歩道整備事業」は合意形成に時間がかかり、事業期間が延長されたことから、整備完了に向けて引き続き取り組む必要がある。	北口駅前広場の利用はされている一方で北口には地域の活動拠点となる場所が整備されていない。特に、新幹線高架下は有効な土地活用がされていないことから、地域のニーズに応じた利活用方策を検討しながら賑わいのある空間を形成する必要がある。 南口メインストリートが事業中(工事中)であることに加え、南幹線との交差点はコの字型の横断歩道や地下道を使って横断する必要があることから、車いすやベビーカーにとって使いづらい環境であるほか、地下道は暗く危険であるため、誰もが安心して歩ける環境の形成が必要である。
【草薙駅南口のまちの“にぎわい”づくり】 ・駅周辺での利用者の滞留や交流がなく、駅前や商店街においてまちの賑わいが感じられない環境。 ・駅南口周辺において、地域住民や学生が気軽に立ち寄れる空間や緑を創出し、駅南口周辺のまちの魅力や賑わいを向上させることが課題。	南口メインストリートの歩道空間や南口駅前広場等において、草薙カルテッドが主体となり、公共空間活用の取組みやイベントを実施することで、地域住民や学生を巻き込み、駅南口周辺の魅力や賑わいを向上させた。	「南口メインストリート整備事業」は事業費高騰による予算平準化により事業期間が延長されたことから、整備完了に向けて引き続き取り組む必要がある。	JR草薙駅南口から南幹線までの区間において、社会実験等により賑わいの創出が図られたものの、静岡県立大学方面への回遊性向上には貢献できていないことから、南幹線以南も含めたエリアにおいて地域住民や学生が居心地が良く歩きたくなる環境づくりが必要である。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	「(一社)草薙カルテッド」を中心とした地域主体のまちづくりの促進	・草薙駅周辺の公共空間を活用した、滞留・交流空間の創出により、地域住民や学生等の来街者で賑わう駅前環境の創出に取り組む	・新幹線高架下活用事業 等

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	草薙駅周辺の“安全な環境”づくり	地域住民や学生等の利用者が安全に移動でき、誰もが安心して歩ける環境の整備に取り組む。	・中之郷9号線歩道整備事業 ・南幹線平面横断化事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	新幹線高架下を有効活用し、まちの魅力やにぎわいの拠点となる駅前環境の整備に取り組む。 草薙駅南口周辺から南幹線までにとどまっている、まちのにぎわいを静岡県立大学まで拡大させ、地域住民や学生等が歩きやすく回遊したくなる環境の整備に取り組む。	・新幹線高架下活用事業 ・南口メインストリート整備事業 ・三角緑地公園リニューアル事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

意見を踏まえて追記

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	駅北口が歩きやすく、乗り継ぎもスムーズに行くと感じる割合	%	35.8	R1	38.8	R4	確定 ●	41.2	△	あり	●			
							見込み			なし				
指標2	駅南口周辺の公共空間を活用したまちづくりが進められ、居心地が良いと感じる割合	%	31.9	R1	35.8	R4	確定 ●	37.3	○	あり				
							見込み			なし				
指標3	駅北口周辺が自転車利用者にとって快適な施設整備、環境整備がされていると感じる割合	%	31.2	R1	-		確定 ●	42.9	○	あり				
							見込み			なし				
指標4							確定			あり				
							見込み			なし				
指標5							確定			あり				
							見込み			なし				
その他の数値指標1				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標2				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標3				H			確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・中間評価を実施したことにより、事業期間中の事業効果を確認することができた。	・事業中の数値目標・成果の達成状況を測るため、「中間評価」を実施することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・計画策定時(R1)、中間評価時(R4)、事後評価時(R6)において、定期的な住民アンケート調査を行ったことで、段階的な事業評価を確認することができ、効果的な計画検討・事業推進に取り組むことができた。	・段階的な事業の達成状況や新たに発現した効果・課題等を把握するため、「中間評価」を実施することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【都市再生整備事業の活用予定地区】

・草薙駅周辺地区(第4期計画)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和6年11月25日～	令和6年11月25日～12月26日	パブリックコメント(意見公募手続)にて実施 郵送、FAX、電子申請 および清水まちづくり推進課へ直接持参	都市局 都市計画部 清水駅まちづくり推進課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	清水まちづくり推進課窓口における閲覧	令和6年11月25日～	令和6年11月25日～12月26日		

住民の意見	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; display: inline-block;">意見を踏まえて追記</div>
-------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員		意見を踏まえて追記			

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	意見を踏まえて追記
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
	意見を踏まえて追記	

有識者の意見	意見を踏まえて追記
--------	-----------